2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　ＯＵＧホールディングス株式会社　　上場取引所　東

コード番号　　8041　　ＵＲＬ　https://www.oug.co.jp/

代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）橋爪　康至

問合せ先責任者　（役職名）取締役経営基盤グループ担当　　（氏名）山田　稔　　ＴＥＬ　06-4804-3031

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－

決算補足説明資料作成の有無：　有

決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	181,017	5.9	1,666	△27.6	1,889	△27.3	1,483	△33.1
2026年３月期中間期	171,003	3.3	2,301	40.2	2,599	37.1	2,216	19.8

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,500百万円（△32.1%）2026年３月期中間期　2,210百万円（33.3%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	274.91	－
2026年３月期中間期	410.56	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	107,401	42,035	39.1	7,788.48
2026年３月期	96,736	41,436	42.8	7,676.84

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　42,035百万円　2026年３月期　41,436百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	167.00	167.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	172.00	172.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	355,000	△2.4	4,600	△27.4	4,800	△29.5	3,200	△40.5	592.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	5,562,292株	2026年３月期	5,562,292株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	165,181株	2026年３月期	164,705株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	5,397,245株	2026年３月期中間期	5,398,237株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(セグメント情報等の注記) …… 8

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、所得情勢、個人消費、設備投資、生産活動、雇用情勢には総じて持ち直しの動きがみられ、緩やかに回復しています。一方、消費者心理は、生活防衛意識を反映し、節約志向が継続しています。

水産物流通業界におきましては、外食・宿泊・インバウンド関連需要は回復しているものの、内食関連需要は水産物価格の上昇も影響し総じて伸び悩んでいます。

このような環境にあって、当社グループは、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し事業活動を展開しています。

また、2024年度から2026年度までの３カ年を対象とした『ＯＵＧグループ中期経営計画2024』に従い、継続してバリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ、１．「鮮魚事業の強化」、２．「商品力の強化」、３．「関東マーケットの深耕・拡大」、４．「海外事業の拡大」、５．「サステナブルな事業活動」の事業テーマにグループ一体となって取り組んでいます。

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は181,017百万円（前年同期比105.9%）となりました。損益面では、売上総利益は15,600百万円（前年同期比98.8%）となり、営業利益は1,666百万円（前年同期比72.4%）、経常利益は1,889百万円（前年同期比72.7%）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,483百万円（前年同期比66.9%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

＜水産物荷受事業＞

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、売上高は、鮮魚を中心に販売単価が上昇したことにより増収となりました。一方、セグメント利益は、商品調達コストの上昇とそれに伴う売上総利益率の低下に加え、物流費を中心とした販売費及び一般管理費の増加により減益となりました。

この結果、売上高は113,575百万円（前年同期比107.4%）、セグメント利益は982百万円（前年同期比79.3%）となりました。

＜市場外水産物卸売事業＞

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、売上高は、外食・宿泊・インバウンド関連需要が堅調に推移するなか、販売単価の上昇等により増収となりました。一方、セグメント利益は、商品調達コストの上昇を販売価格へ十分に転嫁できなかったことなどによる売上総利益率の低下に加え、物流費を中心とした販売費及び一般管理費の増加があり減益となりました。

この結果、売上高は69,558百万円（前年同期比105.2%）、セグメント利益は304百万円（前年同期比51.3%）となりました。

＜養殖事業＞

九州、四国において、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、主力商品である養殖ブリの販売数量がやや減少したことに加え、餌料価格の上昇等により生産原価が増加しましたが、販売単価が高値で推移したことにより増収増益となりました。

この結果、売上高は4,642百万円（前年同期比104.6%）、セグメント利益は491百万円（前年同期比110.4%）となりました。

＜食品加工事業＞

量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、冷凍マグロ加工などを行う食品加工事業は、売上高は、飲食事業者向けの加工・調理サービスを行う連結子会社が１社減少したことにより減収となりました。一方、セグメント損失は、米飯加工、冷凍マグロ加工の収益性が改善したことにより縮小しました。

この結果、売上高は2,037百万円（前年同期比96.4%）、セグメント損失は0百万円（前年同期はセグメント損失64百万円）となりました。

＜物流事業＞

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け・配送を行う物流事業は、売上高は920百万円（前年同期比99.0%）、セグメント利益は4百万円（前年同期比45.9%）となりました。

＜その他＞

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高は1,524百万円（前年同期比92.7%）、セグメント損失は6百万円（前年同期はセグメント損失29百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて10,664百万円増加し、107,401百万円となりました。増加の主な要因は、棚卸資産の増加7,118百万円によるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べて10,066百万円増加し、65,366百万円となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加8,431百万円によるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べて598百万円増加し、42,035百万円（自己資本比率39.1%）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加582百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて734百万円増加し、2,105百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは27百万円の収入（前年同期は1,719百万円の収入）となりました。これは主に、棚卸資産の増加7,118百万円（前年同期は3,075百万円の増加）による支出がありましたが、税金等調整前中間純利益2,179百万円（前年同期は3,222百万円）の計上、仕入債務の増加7,541百万円（前年同期は2,068百万円の増加）による収入があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは992百万円の支出（前年同期は609百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出918百万円（前年同期は596百万円の支出）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,699百万円の収入（前年同期は1,533百万円の支出）となりました。これは主に、借入金の増加による純収入2,601百万円（前年同期は1,008百万円の純支出）、配当金の支払897百万円（前年同期は520百万円の支払）によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月12日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,375	2,114
受取手形及び売掛金	35,054	36,040
商品及び製品	34,708	41,845
原材料及び貯蔵品	223	204
その他	902	1,869
貸倒引当金	△41	△48
流動資産合計	72,223	82,027
固定資産		
有形固定資産	10,899	11,525
無形固定資産	1,842	1,749
投資その他の資産		
投資有価証券	8,129	8,640
その他	3,868	3,670
貸倒引当金	△225	△210
投資その他の資産合計	11,772	12,099
固定資産合計	24,513	25,374
資産合計	96,736	107,401
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,478	30,909
短期借入金	13,010	16,250
１年内返済予定の長期借入金	2,574	2,124
未払法人税等	2,044	683
賞与引当金	867	761
その他	3,877	4,221
流動負債合計	44,852	54,951
固定負債		
長期借入金	6,723	6,534
退職給付に係る負債	1,941	1,958
役員退職慰労引当金	80	69
その他	1,702	1,852
固定負債合計	10,447	10,415
負債合計	55,300	65,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,094	6,094
利益剰余金	25,241	25,823
自己株式	△406	△406
株主資本合計	37,424	38,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,504	3,678
繰延ヘッジ損益	42	△22
土地再評価差額金	△475	△475
退職給付に係る調整累計額	939	847
その他の包括利益累計額合計	4,011	4,028
純資産合計	41,436	42,035
負債純資産合計	96,736	107,401

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	171,003	181,017
売上原価	155,218	165,416
売上総利益	15,784	15,600
販売費及び一般管理費	13,483	13,934
営業利益	2,301	1,666
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	136	157
受取賃貸料	91	87
補助金収入	212	156
その他	53	94
営業外収益合計	495	497
営業外費用		
支払利息	137	208
賃貸費用	42	53
その他	17	12
営業外費用合計	196	274
経常利益	2,599	1,889
特別利益		
投資有価証券売却益	630	－
固定資産売却益	－	154
受取賠償金	－	135
特別利益合計	630	290
特別損失		
投資有価証券売却損	7	－
特別損失合計	7	－
税金等調整前中間純利益	3,222	2,179
法人税、住民税及び事業税	986	545
法人税等調整額	19	150
法人税等合計	1,006	696
中間純利益	2,216	1,483
親会社株主に帰属する中間純利益	2,216	1,483

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	2,216	1,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110	174
繰延ヘッジ損益	27	△65
退職給付に係る調整額	△143	△92
その他の包括利益合計	△5	17
中間包括利益	2,210	1,500
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,210	1,500
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,222	2,179
減価償却費	422	552
有形固定資産売却損益（△は益）	－	△154
投資有価証券売却損益（△は益）	△623	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8	△8
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△137	△149
受取利息及び受取配当金	△138	△159
支払利息	137	208
売上債権の増減額（△は増加）	9	△907
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,075	△7,118
仕入債務の増減額（△は減少）	2,068	7,541
未払消費税等の増減額（△は減少）	△217	△151
その他	517	144
小計	2,178	1,977
利息及び配当金の受取額	138	159
利息の支払額	△139	△215
法人税等の支払額	△457	△1,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,719	27
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△596	△918
有形固定資産の売却による収入	－	144
投資有価証券の取得による支出	△12	△246
投資有価証券の売却による収入	805	3
その他	△806	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△609	△992
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△665	3,240
長期借入れによる収入	200	250
長期借入金の返済による支出	△543	△888
配当金の支払額	△520	△897
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,533	1,699
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△422	734
現金及び現金同等物の期首残高	2,787	1,370
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,364	2,105

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	水産物荷受事業	市場外水産物卸売事業	養殖事業	食品加工事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	101,082	64,710	2,580	1,144	295	169,814	1,189	171,003	－	171,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,656	1,390	1,856	970	634	9,507	455	9,962	△9,962	－
計	105,738	66,101	4,436	2,115	929	179,321	1,644	180,966	△9,962	171,003
セグメント利益又は損失（△）	1,238	592	444	△64	8	2,220	△29	2,191	110	2,301

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額110百万円には、セグメント間取引消去594百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△483百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	水産物荷受事業	市場外水産物卸売事業	養殖事業	食品加工事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	108,415	67,529	2,697	985	290	179,918	1,098	181,017	－	181,017
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,159	2,029	1,944	1,052	629	10,815	426	11,241	△11,241	－
計	113,575	69,558	4,642	2,037	920	190,734	1,524	192,259	△11,241	181,017
セグメント利益又は損失（△）	982	304	491	△0	4	1,781	△6	1,774	△108	1,666

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△108百万円には、セグメント間取引消去452百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△561百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。